

# I 経済の活性化

## 4 農林業の振興 2 林業の振興

主担当部局長名  
農林部長 福谷 健夫

### 目指す姿

県産材の利用拡大と安定供給を図るとともに、森林の有する多面的機能を発揮させるため森林の適切な保全と活用を図ります。

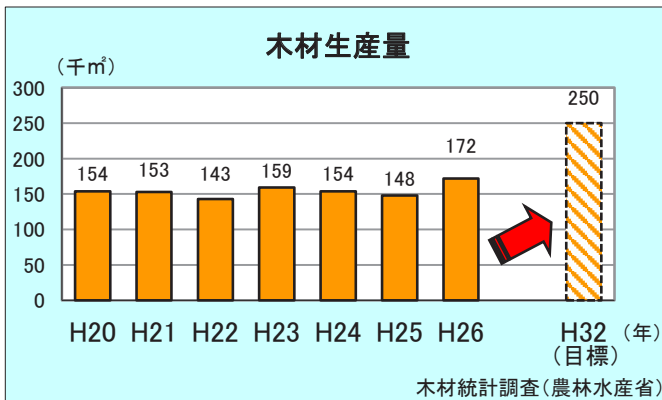


高性能林業機械による造材

### これまでの成果

- ・新たにプロジェクトチームを設置し、「奈良の木」贈り物の商品化に向けて、10点のデザイン開発・試作を行いました。
- ・助成制度の実施により、住宅に県産材を使用する機運が高まりましたが、住宅着工戸数の低迷により、平成26年の製材用材の生産量は前年より1千 $m^3$ 減少し、13万9千 $m^3$ となりました。
- ・里山づくりについて、平成18年度から奈良県森林環境税を活用して取り組んでおり、平成27年度までの間で、NPOやボランティア団体(延べ21,767人)が整備に携わりました。その整備した森林を、延べ22,192人が森林環境教育等で利用しました。

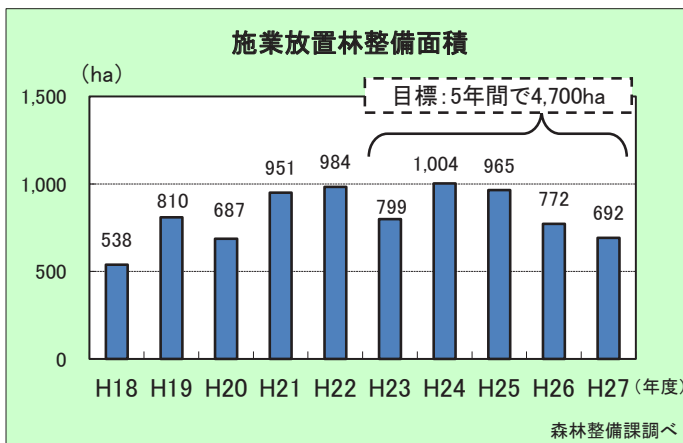
## 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	木材生産量を平成32年度までに25万 $m^3$ に増やします(H25年度:14.8万 $m^3$ )
取組	搬出コストの低減や、A・B・C材毎の受け皿の確保等に取り組みました。
成果	木材生産量は、平成20年からはほぼ横ばいの状況で推移していましたが、「奈良型作業道」の整備等への重点支援や地域認証材を使用した木造住宅建設への支援等を実施した結果、平成26年は172千 $m^3$ とやや増加し、目標値(H32年)の約69%の達成率です。

## 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①里山づくり推進のための整備を平成23年度から平成27年度までの5年間で125カ所実施します。(H23～25年度:72カ所) ②施業放置林の整備を平成23年度から平成27年度までの5年間で4,700ha実施します。(H23～25年度:2,768ha)
------	--



取組	施業放置林(適切な手入れがされていない人工林)の整備に取り組みました。(②)
成果	平成18年度に導入した森林環境税を活用して施業放置林の整備(強度間伐)を実施し、平成27年度には692haを整備したものの、5年間(H23～H27年度)で4,700haの目標に対して、90%の達成率(4,232ha)でした。